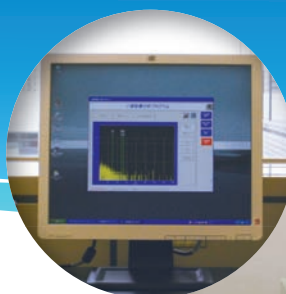




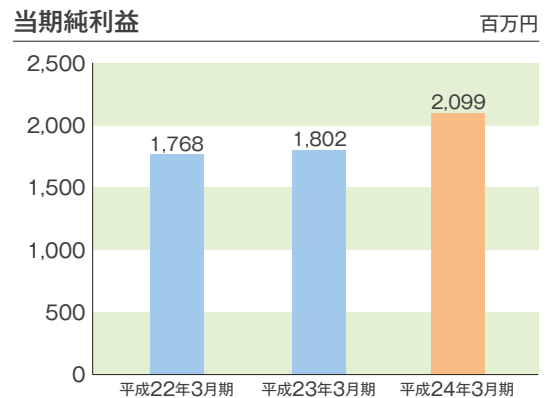
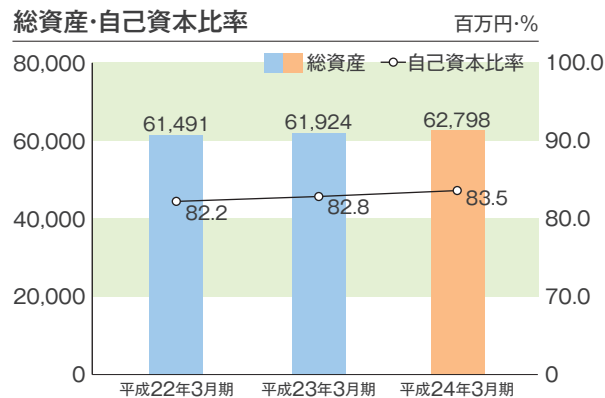
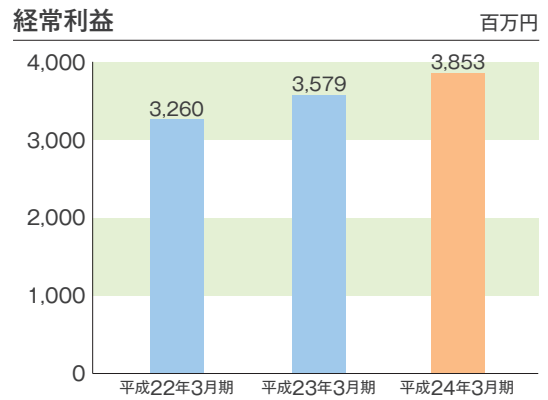
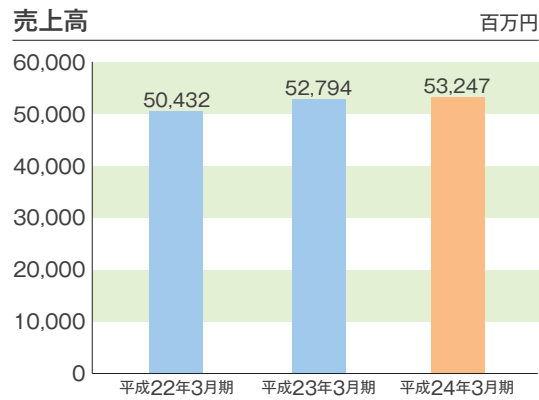
# 社会・環境報告書

## 2012

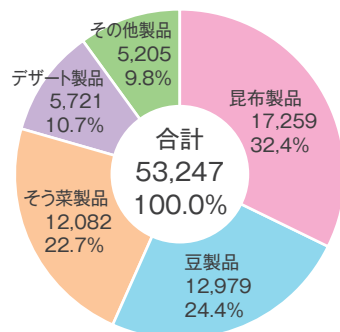


会社名	フジッコ株式会社
代表取締役社長	福井 正一
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	昆布製品、豆製品、そう菜製品およびデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億6,653万円
従業員	2,328名(フジッコグループ全従業員)
工場	兵庫2、埼玉1、千葉1、神奈川1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業所	全国24拠点
連結子会社	フジコン食品株式会社、フジッコワイナリー株式会社、味富士株式会社、フジッコフーズ株式会社

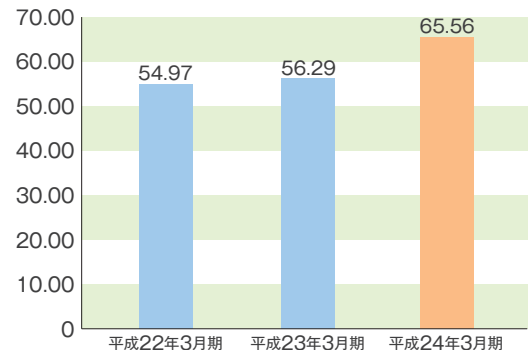
業績の推移(連結)



製品分類別売上高 百万円



1株当たり当期純利益 円



## ごあいさつ

「社会・環境報告書2012」の対象期間となる2011年度は、東日本大震災への対応に追われる年でした。震災後は、被災地を訪れ各地域の店舗を見て回りましたが、売場に商品がない光景を目の当たりに見て、お客様が困っている姿を想像すると、一刻も早く商品をお届けしなければならないと心が急ぎました。そして、救援物資の提供や小売店の売場復旧などの支援を通じて、人々の健康な食生活に貢献することが私たちの使命であると強く感じました。震災から1年半が経過しますが、被災地の復旧は、まだまだ十分ではないと思います。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、今後もできる限りの対応を行ってまいります。

また、東日本大震災に伴う原発事故の影響で、企業においては、より一層のエネルギー利用の削減が求められるようになりました。当社は兵庫県に所在しておりますが、関西電力からは、2012年の夏場の消費電力を、2010年の夏季使用最大電力から10%以上削減する要請を受けました。持続可能な社会の実現に向け、限られた資源を大切に利用し、環境負荷の低減に取り組むことは、社会の一員としての務めであります。私たちは、このことを十分認識し、環境との調和を図ってまいります。

毎年、当社は、フジッコグループにおける社会貢献面と環境面の活動をまとめた「社会・環境報告書」を発行しており、今回は2011年度の活動をまとめた「社会・環境報告書2012」を発行いたします。私たちは、本報告書を皆様との重要なコミュニケーションの場として捉えており、今後もさらなるCSRのレベルアップを図っていきたいと考えております。どうぞ忌憚のないご意見、ご指導をいただけますようお願いいたします。

2012年10月  
フジッコ株式会社  
代表取締役社長

福井 正一



# 食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして

## 昆布製品

佃煮「ふじっ子煮」を始め、塩こんぶ「ふじっ子」、とろろ昆布「純とろ」、だし昆布などの商品を展開しております。



## 豆製品

煮豆「おまめさん」、「こだわり煮豆」、水煮、蒸し豆などの商品を展開しております。



## そう菜製品

日持ちのする包装惣菜「おかず畑」、日配惣菜を展開しております。



## デザート製品

ゼリーデザート「フルーツセラピー」、カスピ海ヨーグルト、杏仁豆腐などの製品を展開しております。



## その他製品

スープ、漬物、調味食品、サプリメント、機能性素材、鍋つゆなどの商品を展開しております。





# フジッコの心

—共生と感動の喜びを込めて—

社是

ひと すじ  
創造 - 路

Always Be Creative

私たちの合言葉 「すこやかフジッコ」

私たちは、食品企業の従業者として、温故知新の精神と  
医食同源の原点を見つめ、次の通り宣言します。

## 【三つのお約束】（一を「ひとつ」と読みます）

- 一、私たちは、安心の品質と価格を誠実に提供します。
- 一、私たちは、自然の恵みの尊さを誠実に演出します。
- 一、私たちは、本当のおいしい味を誠実に追求します。

## 【三つのアタック】

- 一、技術向上、基礎力の習得に努めます。
- 一、挑戦意欲、高いレベルを目指します。
- 一、迅速正確、進んで物事にあたります。

## 【七つの実行】

- 一、会社目標と部門目標の一致を常に心がけます。
- 一、部門目標と個人目標の一致を常に心がけます。
- 一、報告・連絡・相談を徹底します。
- 一、相互の協力と連携を徹底します。
- 一、正確な処理と確認を徹底します。
- 一、社内・社外の情報を正確に把握し、積極的に行動します。
- 一、世界の環境と資源の問題に注目し、積極的に行動します。

私たちは、この「すこやかフジッコ」を心の支えとして、法と  
ルールを守り、力強く革新と成長の道を歩んでまいります。

## 目次

ごあいさつ…………… [02]

コーポレートガバナンスの確立 [05]

コンプライアンスの徹底…………… [06]

### お客様との関わり

■安心・安全のためのふじっ子あんしんシステム  
…………… [07-08]

■「あんしん」のための製造現場の取り組み  
…………… [09]

■お客様相談室の設置  
OCS運動の実施  
ソフトデリの提供…………… [10]

■食育活動の推進…………… [11-12]

従業員との関わり…………… [13]

株主・投資家の皆様との関わり [14]

社会や世界との関わり…………… [15]

### 環境との関わり

■環境基本方針  
環境管理活動の組織体制…………… [16]

■環境への負荷…………… [17-18]

■環境目的・目標…………… [19]

■事業所による環境管理活動…………… [20~29]

■環境保全に関する近年の取り組み  
環境に関するご指摘…………… [30]

対象範囲 【対象期間】2011年4月1日～2012年3月31日なお、一部の報告は、2012年4月以降の内容も含まます  
【対象組織】フジッコ株式会社および国内関係会社



# コンプライアンスの徹底

## フジッコグループの倫理基準

フジッコグループは、お客様の信頼にお応えしていくため、コンプライアンスを重要な経営課題と捉えています。そして、コンプライアンスへの対応をより明確にするため、「倫理基準」を定めております。グループの役員および職員は、本基準を誠実に遵守し社会的責任を果たすことに努めてまいります。

### 【倫理基準】

#### 01 法令の遵守

- 国内外の法令および規則、社内規則を遵守し、公序・良俗を大切にして、高い倫理観のもとで行動します。

#### 02 人権の尊重

- 人権を尊重し、人種、信条、宗教、国籍、年齢、性別、門地、心身などに基づく差別をしません。
- 性的嫌がらせおよび嫌がらせと誤解される発言、行動を認めません。
- 権力、地位を不当に利用した嫌がらせを認めません。

#### 03 安全、安心な製品への取り組み

- 食品製造業に携わる者として、常に安全で安心な製品づくりに取り組みます。

#### 04 顧客取引先との関係

- 信義、誠実、公正、透明な対応を心がけ良好な関係の構築に努めます。
- 公正かつ自由な競争を維持、促進することに努めます。
- 取引先等の役職員に対し贈賄行為、不正な利益の供与を行いません。また、受けることはありません。

#### 05 職場環境の確保

- 労働関係法令を遵守し、安全・衛生で健康に十分配慮した、働きやすい職場環境の確保に取り組みます。

#### 06 守秘義務、知的財産権の尊重

- 会社の機密情報を許可なく第三者に漏洩したり、不正に使用しません。
- 顧客、取引先など第三者の機密情報も会社の機密情報と同様に扱います。
- ソフトの不正コピーなど第三者の知的財産権を侵害しません。

#### 07 公私の厳密な区別

- 会社の利益に反する行為は行いません。
- 会社の資産や経費を会社の利益に反して使用することはありません。

#### 08 反社会的勢力への姿勢

- 反社会的勢力および団体に対しては、毅然とした態度で臨み、反社会的行為には一切加担しません。

#### 09 地球環境保全への配慮

- 地球環境の保全に役立つことを考え、有害な行動をとりません。

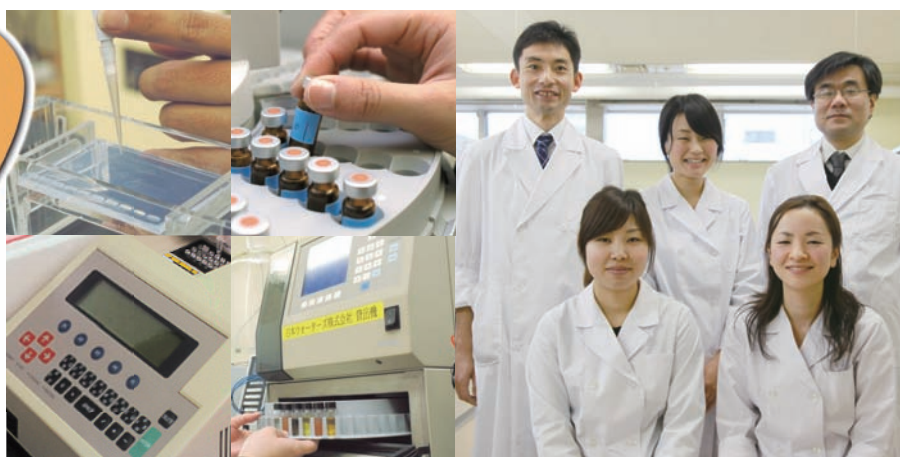
#### 10 社会的責任の遂行

- 良き企業市民として、よりよい社会の実現にむけ積極的に社会貢献に努めます。
- 様々な関係者の理解および支持を得られるよう積極的に企業情報を開示し、透明性の高い経営を行います。

# お客様との関わり

## 安心・安全のためのふじっ子あんしんシステム

「ふじっ子だから安心」と言われ続けるために…。フジッコ(株)では、本社内に「食品安全検査室」を設置し、国内産・海外産を問わず、残留農薬検査をはじめ様々な安全検査を実施しております。



### 01 残留農薬検査

フジッコが使う原材料農産物は、国内産・海外産を問わず、すべて「残留農薬検査」を実施しています。現在の対象は豆をはじめ野菜などの主要原材料164種。有機リン系などの危険度の高いものから一般薬まで300種類の農薬をカバー。残留の有無とその量を検出する最新鋭のGC/MSシステムを用いて検査しています。

豆類・根菜・野菜等など使用する全ての農作物について300種類の残留農薬を測定



### 02 動物用医薬品検査

フジッコ製品で使用している魚介類・畜産物などの動物性食材は約30種類。国内産・海外産を問わず、私たちはこれらの動物性食材に対して、抗生物質や抗菌性物質の残留がないかを、同一サンプルを取り寄せ「動物用医薬品検査」を実施して安全性を確認しています。





### 03 遺伝子組換え検査

フジッコがお届けしている製品の原料には「遺伝子組換え作物」は一切使用していません。国内産大豆を中心に、栽培方法を確認できる原産地のものを厳選し、検査機関の証明に加えて社内でもロットごとの遺伝子組換え検査を行い、万全を期しています。



### 04 アレルギー物質検査

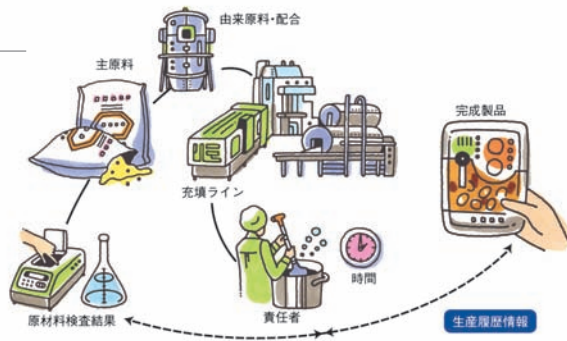
生産ラインではいろいろな食品を製造します。そこで、もし万が一、表示をしていない製品にアレルギー物質が混入することがないように、工場では「7大アレルギー」を含む食材の使用後は、その生産ラインの拭き取り検査を行い、アレルギーが残留していないかを確認。さらに、「食品安全検査室」で再検査をし、安全を確認しています。



### 05 フジッコトレースシステム

製品のひとつひとつの詳細な履歴を掌握・管理するトレースシステムを採用。残留農薬・遺伝子組換え検査などの結果に加え、材料情報・工程情報を把握し、その製品の生産履歴が直ちに分かる仕組みになっています。その一部の情報はお客様が自由に調べることができるように公開しています。

おかず畑、つけもの百選、水煮、ソフトデリの各シリーズで実施



### 06 原産地自主表示の推進

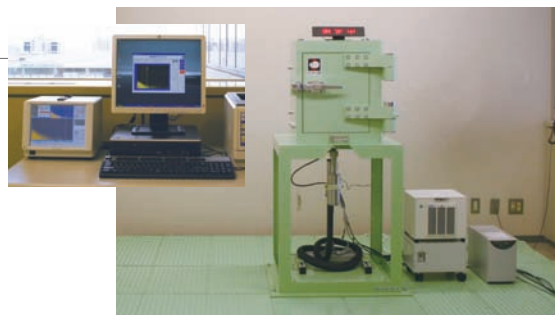
JAS法が定める加工食品の表示義務には、原材料名、賞味期限、製造者などがありますが、「原料原産地」については、22品群と4品目（個別表示基準による）の食品についてのみ表示義務が定められています。

しかし、フジッコでは、「お客様に正しい情報を提供し、正しく理解して選んでいただきたい」という思いから、それ以外の食品の原料原産地についても自主表示を進めています。



### 07 放射性物資検査

東日本大震災による原発事故に伴う放射能汚染への対応としましては、高い精度で放射性物質検査ができる「ゲルマニウム半導体検出器」を導入しました。工場で使用する水や原料を定期的に検査するとともに、最終製品についても測定を行い、製品の安全性確保に努めております。



お客様との関わり

## 「あんしん」のための製造現場の取り組み

「あんしん」のためのフジッコシステムは製造の現場でも日々進化し続けています  
すでにご覧いただいたように、科学的な安全性を調べつくした上で、フジッコの「あんしん」は製造の現場に引き継がれますが、製造の現場も日々進化を続けながらフジッコの「あんしん」を支えています。

### 例えば レントゲン検査

いくつかの検査を経た上でパック詰めした製品は、もちろん金属探知機でも検査しますが、それでも捉えきれない異物混入がないか、最終的にソフトX線でも確認しています。



### 例えば 無菌充填

デザートの充填室は、過酸化水素により、どんな菌も入りこめません。過酸化水素は熱で安全な水と酸素に分解されます。

### 例えば 画像チェックや バーコード管理

小さなエラーも見過ごさないための画像管理やバーコード管理などを導入し、現場での安全性の確認や作業の確実性を支えます。



### 例えば 定温定室+ バーコード管理

慎重の上に慎重を重ねて作られた商品は、最後の出口でも5℃の二重扉に守られ(チルド室)、バーコードから商品情報や動きをリアルタイムで把握できるWMS(倉庫管理システム)により管理されています。

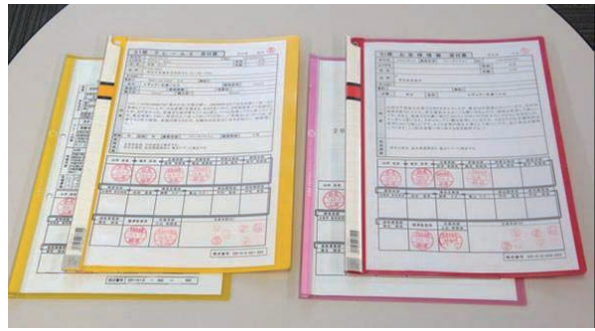




## お客様相談室の設置

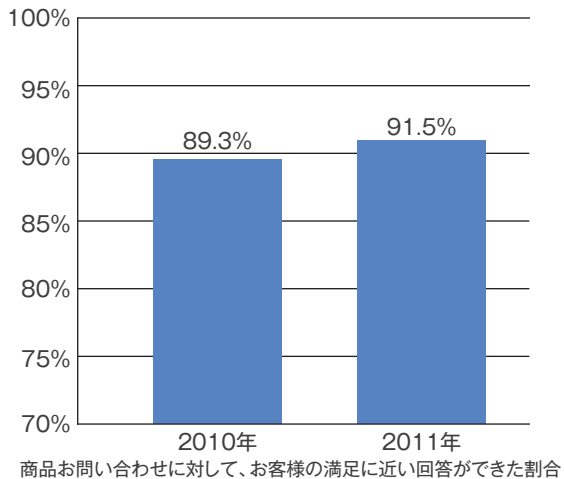
### 【お客様相談室】

お客様のご不満や励ましのお声については、直接伺うのが創業以来の当社の習わしであり、1993年より、「お客様相談室」として専用ダイヤルを設置しております。寄せられたお客様情報は、お問い合わせ内容に応じて色分けしたファイルに管理し、一つひとつ大切に对应しております。



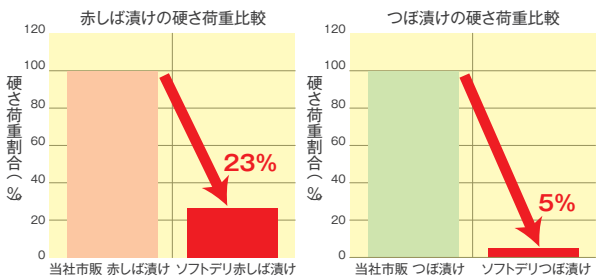
## OCS運動の実施

お客様相談室へ最も多く寄せられる商品お取扱い店舗のお問い合わせに対し、フジッコでは、お客様相談室と営業部門が連携し、1人ひとりのお客様からのお問い合わせに対応するOCS (One Customer Satisfaction) 運動を実施しております。2011年度は、1,268件のお問い合わせがあり、その内の91.5% (前年89.3%) に対して、近隣のお取扱い店舗のご紹介や近隣店舗への商品導入を行い、お客様満足を高めることができました。



## ソフトデリの提供

フジッコでは、咀嚼が不自由な方にも本物の味と香りでおいしく食べていただけるように、佃煮、煮豆、漬物のソフトデリシリーズを開発し、病院施設を中心に販売を行っております。ソフトデリは、「これなら噛める!」と驚きの柔らかさで、栄養士や利用された方から好評をいただいております。



硬さ荷重の割合:硬さ荷重は刃物で切る力の大きさです。  
きんぴら(れんこん)をかみ切るのに必要な力を100としています。



## 東日本大震災への対応

東日本大震災において、フジッコグループでは、食品メーカーとして果たすことができる役割を考え、佃煮・煮豆製品の無償提供、被災のあった小売り店舗の売場復旧支援、義援金の拠出、リストバンドを販売し集めたお金を被災地へ寄付する等の対応を行いました。

## 食育活動の推進



## 参加型啓蒙イベント活動

### 【フォーラムの開催】

カスピ海ヨーグルトの素晴らしさを世間一般に広く知っていただくために、2011年9月～11月にかけて東京、大阪、名古屋で「カスピ海ヨーグルトフォーラム」を開催しました。今回のフォーラムでは、「カスピ海ヨーグルトの健康効果」についての講演、「免疫力を高める食材摂取の必要性」についてのパネルディスカッション、カスピ海ヨーグルトを使ったメニューの試食会を行いました。



### 【料理教室等の開催】

東京FFセンターや本社のパーティキッチンにて、「親子で黒豆おせち料理教室」、「ヘルシークッキング倶楽部」等の料理教室を開催し、多くの方にご参加いただきました。また、2011年3月には、「親子で“昆布”味覚授業」を東京と神戸で開催し、有名日本料理店（東京「分とく山」、神戸「神戸たむら」）の料理長の指導のもと、美味しい出汁の取り方・活用術を学んでいただきました。



### 【丹波篠山の黒豆作付け体験・収穫体験】

自然の恵みの尊さを学ぶことや素材に興味を持つこと、そして農業にかかわる人や調理をしてくれる人への感謝の気持ちを養うことを目的に、2011年7月2日に「丹波篠山黒豆作付け体験」を開催しました。作付けした黒豆は、大きく育ち、10月22日には「丹波篠山黒枝豆収穫体験」を開催しました。





## 【小学生豆つかみゲーム大会】

正しいお箸の持ち方を、ゲーム感覚で楽しみながら身につけるフジッコオリジナル食育ツール「まめっ子くん」。弊社では、この「まめっ子くん」を使った「小学生豆つかみゲーム大会」を全国各地で開催しております。2012年7月24日には、池袋サンシャインシティにて「第5回小学生豆つかみゲーム大会」を開催しました。楽しみながら実践することで確かに身につくものがある。これからもフジッコは、「まめっ子くん」で正しい食事作法を学んでいただけるよう、全国各地で食育イベントを続けて参ります。



## 店頭イベント活動

食育とは、決して難しいものではなく、ご家庭の食卓から始めるもの。お客様がフジッコ商品に触れる機会の多いスーパーなどで「おかずステーション」等を設置し、バランスの良い食事モデルや、商品を上手に使った健康的なアイデアレシピを提案しております。



## 教育支援活動

### 【フジッコ食育ミュージアム】

フジッコが推進する「食事バランス改善計画」による健全な食生活への理解を深めていただくために、食育ミュージアムを設けております。昆布、豆、食育ゾーンの、3つのゾーンを用意し、昆布の収穫体験等のゲームを通じて楽しく学習することができます。

### 【食育授業への取り組み】

小学校の食育授業を支援する為、正しいお箸の持ち方を学べる「まめっ子くん」の貸し出しを行いました。



## 情報提供活動

フジッコでは、食育に関する情報をホームページで発信しているほか、食卓の情報満載の健康情報誌「ビーンズライフ」の定期発行、食育についての知識を深める「食育ガイドブック」の作成といった各種の情報提供活動に取り組んでおります。



# 従業員との関わり

## 教育研修制度等の充実

フジッコ(株)では、社員1人ひとりがいきいきと働けるよう、教育研修制度の充実、育児・介護休業といった福利厚生制度の整備、助成金による自己啓発(通信教育)の支援等に取り組んでおります。



## 野菜の作付け・収穫体験

### 黒豆部による活動

当社の主力商品の一つである黒豆について、栽培と流通過程を体験した上で仕事に臨んでほしいという想いから、2011年より有志を募って活動を開始しております。2011年は、7月上旬に苗の植え付け、8月に支柱立て、10月に収穫を行いました。

### 加古川農場での野菜作付け・収穫体験

「食材の知識を高め、食の大切さや有難さを学ぶこと」、「自社の取り組みに対する理解を深めること」を目的に、フジッコ(株)加古川農場にて、野菜の作付け・収穫体験を実施しております。2011年は6月に「なす」と「ピーマン」の作付けを行いました(9月に収穫体験を予定していましたが、台風のため中止となりました)。

### 豊岡棚田の里いも収穫体験

兵庫県豊岡市日高町の「八千代集落中山地を守る会」より、当社に対して、高齢化で耕作放棄された棚田を守るために支援をお願いしたいという手紙がありました。同会の活動は当社の想いと合致するところがあり、それならばということで、同会に対して棚田での里いもの栽培を提案。秋には、当社の社員とその家族を対象に収穫体験イベントを実施し、獲れた里いもを全量買い取って、当社惣菜製品に使用しております。



## 再雇用制度の充実

定年退職後も働く意欲があり、引続き勤労者として社会に貢献したいと考えている従業員に再度働いていただけるよう、定年退職者の再雇用制度を整えております。

## 労務相談窓口の設置

従業員が残業・休日その他の労務に関する相談や、セクハラ・パワハラなどのハラスメントに関する相談ができるよう、労務相談窓口を設置しております。



# 株主・投資家の皆様との関わり



## 株主総会の開催

フジッコ(株)では、より多くの株主の皆様には株主総会に出席していただけるよう、2011年度以降は、最集中日を避けた日程で株主総会を開催しております。2012年度は6月26日に開催し、210名の株主様にご出席いただきました。

## 決算説明会の開催

本決算発表後は、アナリスト・機関投資家の皆様とのコミュニケーションを深めるため決算説明会を開催し、経営トップ自身が経営戦略やその進捗状況等を説明して、質問にお答えしております。また、四半期ごとの決算発表後には、アナリスト・機関投資家の皆様を対象とした個別訪問も実施しております。

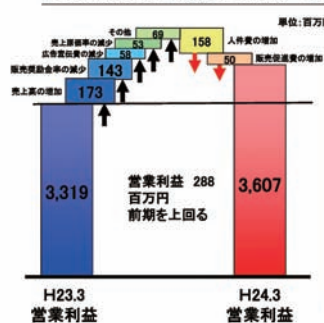
## ホームページによる情報開示

フジッコ(株)は、事業活動への理解をより深めていただけるよう、ホームページにおいて、決算情報、新商品リリース等の情報開示を随時行っております。

「フジッコ」ホームページ

URL <http://www.fujicco.co.jp>

### 営業利益の増減要因分析 (前期比)



売上高の増加と販売奨励金等の減少が人件費、販売促進費の増加を吸収し、営業利益は前期を上回った

【売上原価】  
売上高増減率は 61.8%→61.7%とほぼ前期並水準をキープ

【販売費及び一般管理費】  
売上高増減率は 31.9%→31.5%と0.4P減少  
販売条件の厳密に取り組み、またことや前期より広告宣伝費を控えたこと等による



2012年送付の株主優待品

## 株主優待品

フジッコ製品をより身近に感じていただくため、1,000株以上の株式を保有する株主様へ、毎年6月にフジッコ製品の詰め合わせセットをお送りしております。

## 株主様向け報告書の送付

株主様向けの報告書として、中間報告書と年次報告書を発行し、財務情報等の報告を行っております。

【おまめさん】新作TVCM大量放映！  
クロスメディア展開 ブランドサイトもオープン

1. 広告商品: 「おまめさん」  
2. 4K/HD映像配信: 新番組「おまめさん」2012年4月26日(木)18:00~19:00(生放送)  
3. 新商品: 新商品「おまめさん」発売に合わせたTVCM

【販売費及び一般管理費】  
売上高増減率は 31.9%→31.5%と0.4P減少  
販売条件の厳密に取り組み、またことや前期より広告宣伝費を控えたこと等による

株主・投資家の皆様との関わり

# 社会や世界との関わり

## 昆布ミネラル国際支援

ネパールにおける「ヨード欠乏症」の根絶を目指して活動している「ネパール・ヨードを支える会」を、フジッコは、“昆布ミネラルカプセル”の無償提供で応援しています。

### 「ヨード欠乏症」とは？

慢性的なヨード摂取不足により甲状腺が機能不全を起こす病気です。海藻を日常的に食する日本ではこの病気はほとんど見られませんが、内陸地帯や山岳地帯では、ユニセフがその対策に乗り出すほど重大な健康問題となっています。自給自足の農村地帯が多く、険しい山々に囲まれた集落の多いネパールでは、特に重症患者が多いことで知られています。

## 献血運動への協力

フジッコでは、日本赤十字社が推進している「献血サポーター」活動に参加登録し、献血運動への協力を行っております。過去には、日本赤十字社より、永年にわたる献血運動への協力に対し、銀色有功章をいただきました。



私たちは  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

## 山岸八郎奨学基金

2007年6月、神戸大学より山岸会長あてに、神戸大学基金をもとにした奨学金制度の紹介がありました。弊社では、この主旨に賛同し、山岸八郎奨学基金として2008年4月1日より奨学金制度をスタート。2011年度は4名の方が奨学生に選ばれました。この奨学金には「奨学金を糧にして未来に羽ばたいてほしい」との思いが込められています。



## ベルマーク運動への参加

当社は、1974年4月よりベルマーク運動に参加しており、証票点数も累計で4億点を突破しております。



ベルマーク

### ベルマーク運動とは？

PTA、企業、ベルマーク財団が進めているボランティア活動です。この活動によって、PTAは自分の学校の設備を整えるのと同時に、へき地にある学校や特別支援学校、災害被災校、発展途上国の子供たちへの援助も行えます。



# 環境との関わり

## 環境基本方針

### 環境基本理念

フジッコグループは、「すこやかフジッコ」を合言葉に日本の伝統食・伝統食材に基づいた、健康という付加価値を持った商品をつくり出しております。

健康という付加価値をもつには、まず、素材と従業者が健康でなくてはなりません。そのためには、地球環境が健康であることが必要不可欠であります。近年、私たちの住む地球は、科学技術の発達と生活環境の変化によって汚染が進み、食品の安全性を含め生活環境の破滅を招く事態となっております。

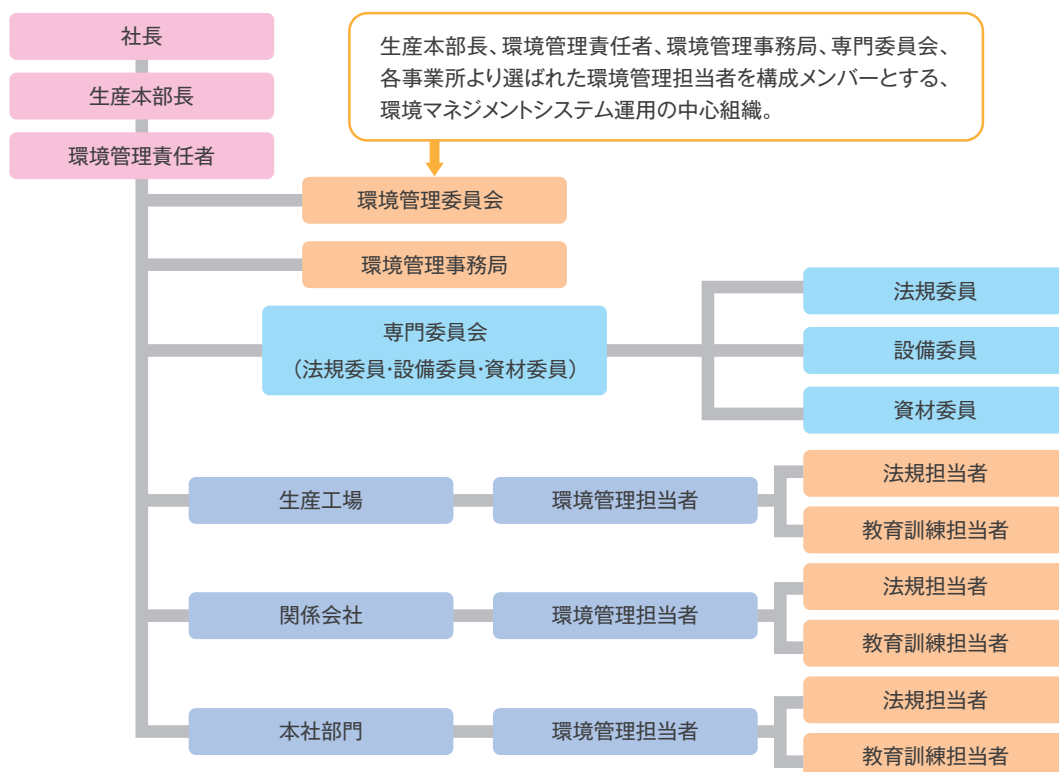
ここに、食を通じて社会に役立ちたいと願うフジッコは各工場において環境に配慮した生産活動を行い、地球環境の改善ならびに地球環境への負荷軽減に資するよう、たえず努力することを誓います。

### 環境行動指針

- 1 事業活動にかかわる環境側面を常に配慮し、環境マネジメントシステムを構築することにより環境保全活動の継続的な向上を図ります。
- 2 食品工場の宿命として水の使用量が多いこともあり、水質汚濁防止のため工場排水を重点的に管理し、地域社会との共生を図ります。
- 3 主な消費エネルギーである電力や重油の節減に取り組むとともに、廃棄物の低減化、リサイクル、リユースにも努力します。
- 4 環境基本法を中心とした環境関連の法律・規制・協定を遵守するとともに国際環境規格を守ります。
- 5 環境目的、環境目標を設定し、毎年見直しを行って改善に努めます。

## 環境管理活動の組織体制

環境に与える影響が最も大きい生産部門を中心とする環境マネジメント組織で環境負荷低減のための活動に取り組んでおります。



## 環境への負荷

下図は、2011年度のフジコグループにおける、環境への負荷をフローの形で表したものです。製品の生産から流通、販売までの過程では、さまざまな環境負荷がかかります。私たちは、生産部門、本社オフィス部門、営業部門のそれぞれにおいて、環境負荷低減に向けた活動に取り組んでおります。

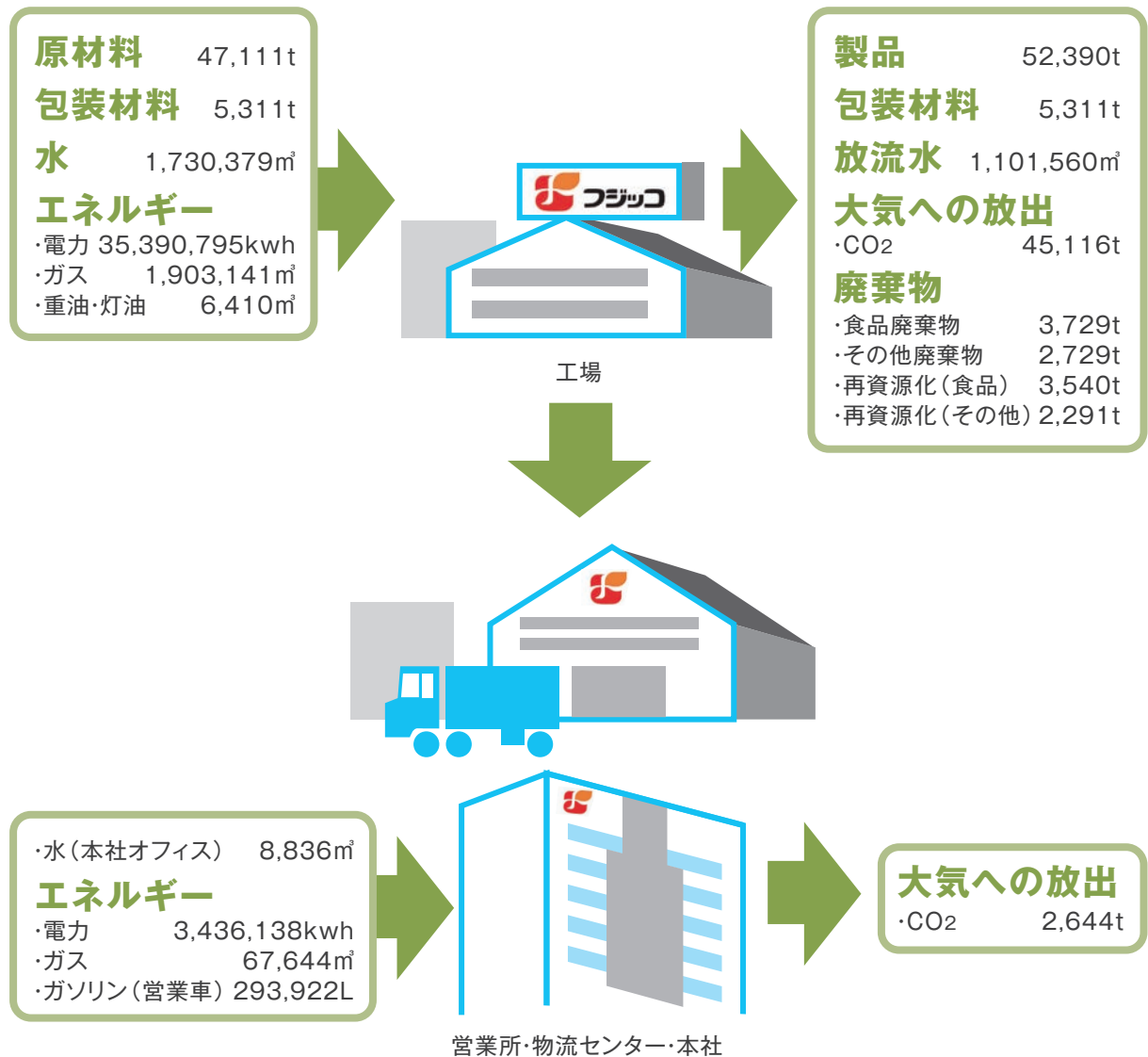
### インプット

<b>原材料</b>	47,111t
<b>包装材料</b>	5,311t
<b>水</b>	1,730,379m <sup>3</sup>
<b>エネルギー</b>	
・電力	35,390,795kwh
・ガス	1,903,141m <sup>3</sup>
・重油・灯油	6,410m <sup>3</sup>

### アウトプット

<b>製品</b>	52,390t
<b>包装材料</b>	5,311t
<b>放流水</b>	1,101,560m <sup>3</sup>
<b>大気への放出</b>	
・CO <sub>2</sub>	45,116t
<b>廃棄物</b>	
・食品廃棄物	3,729t
・その他廃棄物	2,729t
・再資源化(食品)	3,540t
・再資源化(その他)	2,291t

環境との関わり

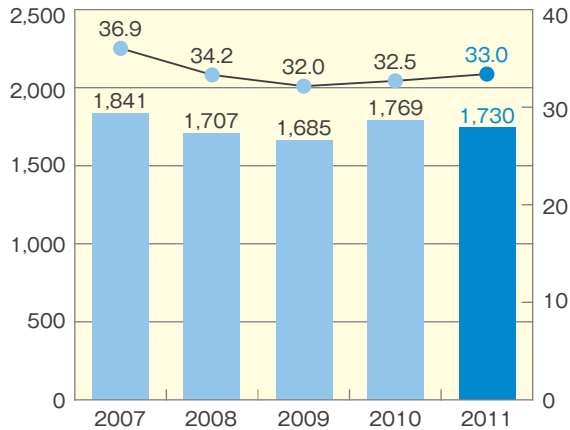


## 過去5年間(2007年度~2011年度)の実績について

生産部門における過去5年間の水の使用量、食品廃棄物の再生利用等の実施率、電力消費量、石油系燃料(重油・灯油)の消費量、CO<sub>2</sub>排出量、製造量の推移は下記のとおりです。

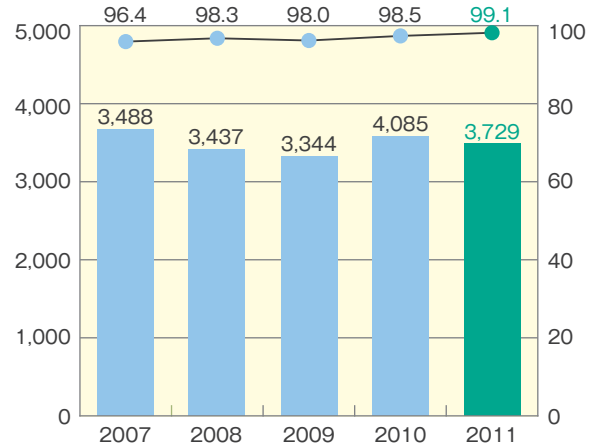
### ■水の使用量の推移

■ 使用量[×10<sup>3</sup>m<sup>3</sup>] ●—● 製造量原単位[m<sup>3</sup>/t]  
 製造量原単位=使用量/製造量[m<sup>3</sup>/t] (製造量1tあたりの使用量)



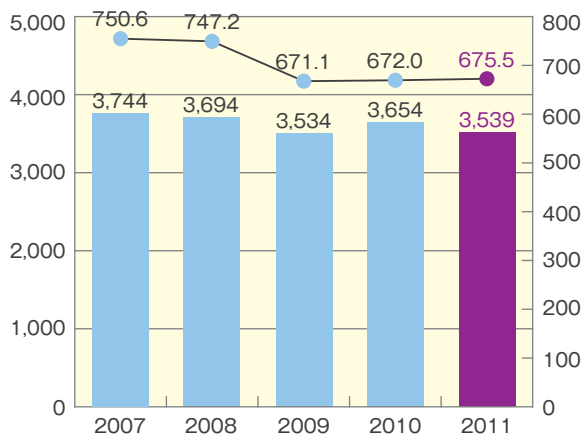
### ■食品廃棄物の再生利用等の実施率の推移

■ 食品廃棄物量[t] ●—● 再生利用等の実施率[%]  
 再生利用率等の実施率[%]=再生利用量[t]×100/食品廃棄物量[t]



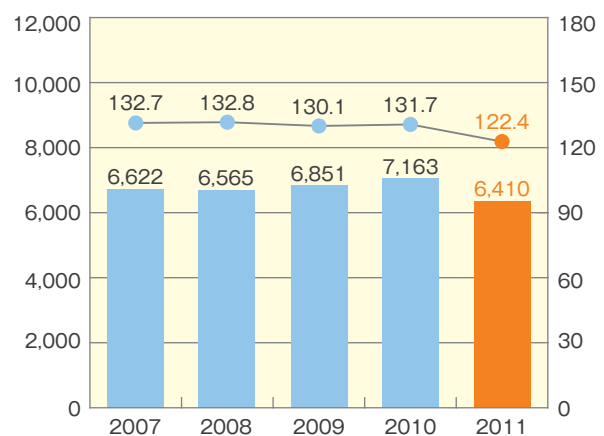
### ■電力消費量の推移

■ 消費量[×10<sup>4</sup>kwh] ●—● 製造量原単位[kwh/t]  
 製造量原単位=消費量/製造量[kwh/t] (製造量1tあたりの消費量)



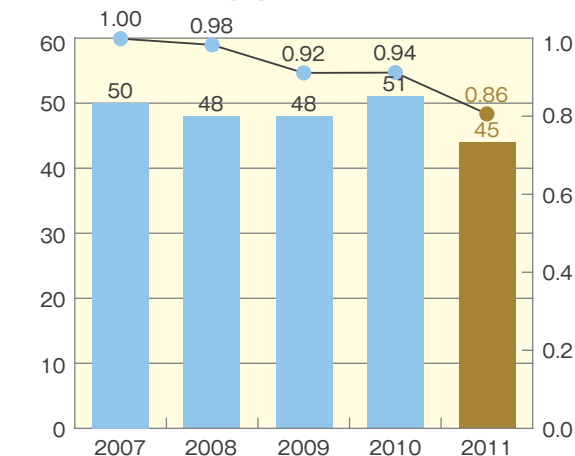
### ■石油系燃料使用量の推移

■ 使用量[×10<sup>3</sup>L] ●—● 製造量原単位[L/t]  
 製造量原単位=使用量/製造量[L/t] (製造量1tあたりの使用量)



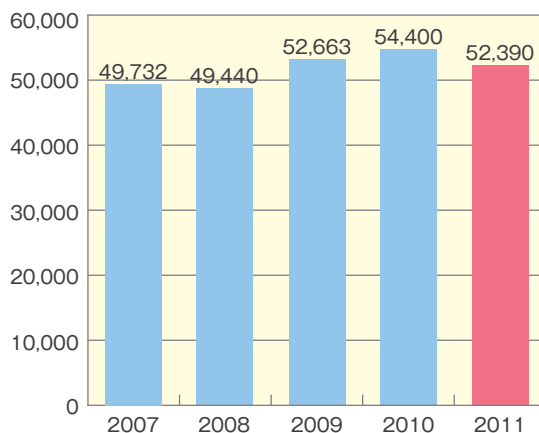
### ■CO<sub>2</sub>排出量の推移(2007年度より)

■ 排出量[×10<sup>3</sup>t] ●—● 製造量原単位[t/t]  
 製造量原単位=排出量/製造量[t/t] (製造量1tあたりの排出量)



### ■製造量の推移

■ 製造量[t]



## 環境目的・目標

生産部門において取り組むべき環境管理活動を環境目的および環境目標として定めました。

### ■環境目的（中期目標）

中期目標を環境目的として定め、その達成に向け取り組みを進めております。

#### 2007年～2011年の5カ年における環境目的の達成状況

	環境目的		実績	評価
1	水の使用量を削減する → 2006年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で3%削減する	→	2006年対比 6.5%削減	○
2	食品廃棄物の再生利用等を促進する → 2011年度までに、食品廃棄物の再生利用等の実施率を95%にする	→	実施率99.1%	○
3	電力消費量を増加させない → 2006年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で100%を超えないようにする	→	2006年対比 6.5%削減	○
4	石油系燃料（灯油・重油）の使用量を削減する。 → 2006年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で3%削減する	→	2006年対比 26.8%削減	○
5	CO <sub>2</sub> 排出量を削減する → 2007年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で2%削減する	→	2007年対比 10.5%削減	○

#### 2012年～2014年の3カ年における環境目的

1	水の使用量を削減する → 出荷重量当たりの水の使用量（2011年度:33.0m <sup>3</sup> /t）を2014年度までに3%削減し32.0m <sup>3</sup> /tにする
2	食品廃棄物の発生量を削減する → 出荷重量当たりの食品廃棄物の発生量（2011年度:71.2kg/t）を2014年度までに3%削減し69.0kg/tにする
3	電力消費量を削減する → 出荷重量当たりの電力消費量（2011年度:675.5kwh/t）を2014年度までに2%削減し662.0kwh/tにする

### ■環境目標（短期目標）

短期目標を環境目標として定め、その達成に向け取り組みを進めております。

#### 2012年度の環境目標

	環境目標
1	出荷重量当たりの水の使用量を2011年度（33.0m <sup>3</sup> /t）に対し1%削減し32.7m <sup>3</sup> /tにする
2	出荷重量当たりの食品廃棄物の発生量を2011年度（71.2kg/t）に対し1%削減し70.5kg/tにする
3	出荷重量当たりの電力消費量を2011年度（675.5kwh/t）に対し0.7%削減し670.8kwh/tにする



# 事業所による環境管理活動

## 関東工場（生産品目：佃煮、煮豆、デザートなど）

### 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比5.8%増加
食品廃棄物の再生利用等の実施率100%を維持する	実施率100%
電力消費量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比3.3%削減
ボイラーで使用する重油の使用量を出荷重量対比で前年を超えないようにする	前年対比0.4%削減
地域の環境保全活動へ参加する 工場周辺を定期的に清掃する	実施

### 環境負荷低減への取り組み

- クーリングタワーのボールタップの交換と調整を行い、適正な給水量にして、節水を行いました。
- 食品廃棄物の飼料化および肥料化に取り組み、再利用等の実施率100%を維持しました。
- 電力使用量の削減の為、蛍光灯の間引き、手元スイッチの設置による小まめな消灯、人感知センサーの取り付け、冷房の温度設定28℃の徹底、工場稼働日の調整、廃水処理場ポンプへのインバーター取り付けを行いました。
- 蒸気使用設備の放熱ロス削減を目的として、保温カバーの設置を行いました。



### 地域環境への貢献活動

- 渡良瀬遊水地クリーン作戦へ参加しました。
- 工場外周の側溝清掃と除草を定期的に行いました。



所在地 埼玉県加須市麦倉1501番地

環境との関わり

### 過去5年間（2007～2011年度）の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	392,808	371,399	405,915	410,921	412,052
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	98.70	98.71	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	7,620,140	7,658,240	7,517,420	7,871,140	7,212,020
石油系燃料（重油・灯油）の使用量	m <sup>3</sup>	2,040	2,167	2,256	2,069	1,954
CO <sub>2</sub> 排出量	t	10,143	10,500	10,656	10,420	9,358
出荷重量	t	8,376	7,678	7,880	8,018	7,599

## 東京工場（生產品目：佃煮・調味食品・包装惣菜・日配惣菜など）

### 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を2010年より生産パック数対比で1%削減する	2010年対比14.2%削減
食品廃棄物の排出量を生産パック数対比で2010年を維持する	2010年対比28.2%削減
電力消費量を2010年より生産パック数対比で1%削減する	2010年対比11.3%削減
環境保全・改善活動を実施する	実施

### 環境負荷低減への取り組み

- 水の使用量を削減する目的で、殺菌機で使用している冷却水をろ過して再利用しました。
- 製品を製造する過程で発生した出汁がらをこれまで肥料用に再生利用していましたが、飼料として再生利用するように変更しました。



### 地域環境への貢献活動

- 船橋市主催の清掃活動に積極的に参加しました。また、定期的な工場周辺の清掃活動を行いました。



所在地 千葉県船橋市高瀬町5番

### 従業員への教育と啓蒙

- 各グループの管理責任者を対象に教育訓練を実施しました。

### 過去5年間（2007～2011年度）の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	321,595	303,794	288,998	313,596	284,889
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	88.00	94.00	87.4	95.8	100.0
電力の消費量	kwh	6,398,995	6,348,971	5,929,436	6,115,302	5,743,133
CO <sub>2</sub> 排出量	t	9,100	8,939	8,477	8,577	5,682
出荷重量	t	10,480	10,039	11,771	11,259	10,152
生産パック数	千パック	64,208	60,229	59,877	59,490	63,000

## 横浜工場（生産品目：日配惣菜・ヨーグルト）

### 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比25.4%削減
廃棄物の再利用率を前年より向上させる	前年対比2.2%低下
電力消費量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比20.4%削減
都市ガスの使用量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比8.1%削減
工場周辺の清掃と美化を実施する	実施

### 環境負荷低減への取り組み

- 水の使用量を削減する為、冷凍原料の解凍用シャワーを増設し、流水での解凍を中止しました。また、塩蔵原料の脱塩を流水で行っていますが、専用のノズルを取り付け流水量を削減しました。さらに、水の使用量の管理を徹底し増加時には節水の広報を行いました。
- 電力消費量削減の為、冷蔵庫のカーテンの増設、室外空調機への散水機の増設、井戸水汲み上げポンプへのインバーター取り付け、事務所・食堂等への扇風機の設置、エアコンの温度設定28℃の徹底を行いました。

- 掲示板に動植物性残渣量を毎週掲示しました。
- ガスおよび水使用量については、使用量の多かった時に全員朝礼で広報しました。

### 地域環境への貢献活動

- 植木剪定、工場裏の遊歩道の清掃を行いました。



所在地 横浜市緑区上山1丁目8番2号

### 従業員への教育と啓蒙

- 節電についてポスターを掲示し、特に夏場は、電力消費量をグラフ化して毎週掲示しました。

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	39,205	47,509	52,815	45,666	42,651
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	93.38
電力の消費量	kwh	1,412,580	1,593,024	1,784,419	1,917,119	1,909,660
CO <sub>2</sub> 排出量	t	1,657	1,682	1,926	2,047	2,185
出荷重量	t	1,799	2,120	2,965	3,265	4,087

## TOPICS

### 地球環境を守る「緑の募金」自動販売機

フジッコ(株)の本社には、ダイドードリンコ(株)の「緑の募金」自動販売機が設置されており、この自動販売機を利用した場合、売上の約2%が緑の募金として、社団法人国土緑化推進機構に寄付される仕組みになっております(フジッコ(株)、ダイドードリンコ(株)がそれぞれ約1%ずつ寄付します)。集まった募金は、植林や地域の緑化推進のために使われ、また、森林ボランティア団体の支援などに役立てられています。





## 和田山工場（生產品目:煮豆・塩吹昆布など）

### 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を出荷重量対比で前年以下に削減する	前年対比1.4%削減
食品廃棄物の排出量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比4.7%増加
電力消費量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比1.3%増加
石油系燃料の使用量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比2.0%増加
環境保全・環境に配慮した生産活動を進める	実施

### 環境負荷低減への取り組み

●水の使用量を削減する為、殺菌冷却水の再利用システムの冷却効率をアップさせ再利用率を向上させました。また、昆布水煮後の水を洗浄へ再利用することや、煮豆調理に使用する水量の見直しも行いました。



●電力消費量を削減する為、包装機械類の稼働率をアップさせ、稼働時間の短縮を図りました。

●化石燃料の使用量を削減する為、蒸気配管等への保温カバー取り付けによる放熱防止や、煮豆・塩吹昆布の製法見直しによる蒸気使用時間の短縮に取り組みました。

●食品廃棄物量を削減する為、生産工程でのロス低減に取り組みました。

●協同の運送・配送の計画による配車数の削減に取り組みました。

### 従業員への教育と啓蒙

●2011年度の環境目的・目標を掲示し、毎月の環境実績の報告を掲示しました。

●毎月工場内外のパトロールを行い、不具合箇所の改善を行いました。

### 地域環境への貢献活動

●クリーン作戦として、工場周辺と右岸道路、円山川河川敷の清掃活動を行いました。



所在地 兵庫県朝来市和田山町柳原68

### 過去5年間（2007～2011年度）の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	355,012	293,394	249,234	276,129	262,793
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	99.70
電力の消費量	kwh	6,010,712	5,977,837	5,982,925	6,352,150	6,210,203
石油系燃料（重油・灯油）の使用量	m <sup>3</sup>	2,247	2,232	2,265	2,663	2,623
CO <sub>2</sub> 排出量	t	10,406	10,069	9,495	10,806	9,957
出荷重量	t	8,821	8,462	7,726	7,956	7,680
生産バック	千バック	—	73,446	73,115	73,905	71,422

※生産バック数は、2008年度より調査しております。



## 加古川分工場 (生産品目:煎り豆など)

### 環境目標の達成状況

目標	実績
電力消費量を前年より出荷重量対比で3.5%削減する	前年対比0.6%増加
工場周辺の清掃・草引きを定期的に行う	実施

### 環境負荷低減への取り組み

- 電力消費量を削減する為、冷蔵庫・原穀倉庫の冷房・暖房機の運転方法の見直し、動力機器の小まめな電源切断、現場内温度維持のためのこまめなドアの開閉を行いました。



所在地 兵庫県加古川市上荘町見土呂字カチドキ38番

### 地域環境への貢献活動

- 工場周辺道路・加古川河川敷の清掃活動に参加しました。
- 定期的に工場敷地内・周辺の清掃・草引きを実施しました。

### 過去5年間(2007~2011年度)の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	643	702	551	974	1,361
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
電力の消費量	kwh	142,160	144,720	142,001	154,292	158,759
CO <sub>2</sub> 排出量	t	103	109	131	168	135
出荷重量	t	66.2	87.6	100.6	152.4	155.8

### 製品流通過程での環境負荷低減

#### ダンボール材質の変更

塩こんぶ、とろろ昆布、フルーツセラピー、搾りたて果実などの外装箱で使用するダンボールを軽量ライナーに変更し、包装材料の重量(使用量)削減に取り組みました。



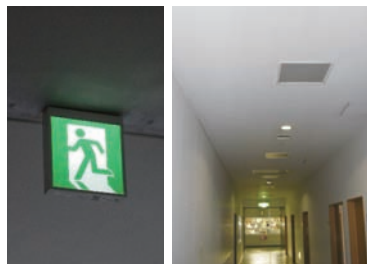
## 鳴尾工場 (生産品目:佃煮・包装惣菜・ヨーグルトなど)

### 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を売上高対比で前年を維持する	前年対比100%
食品廃棄物の再生利用等の実施率100%を維持する	実施率100%
飼料化率14%を維持する	飼料化率4.7%
電力消費量を売上高対比で前年を維持する	前年対比5.9%増加
都市ガスの使用量を売上高対比で前年を維持する	前年対比4.3%削減
地域保全活動を実施する	実施

### 環境負荷低減への取り組み

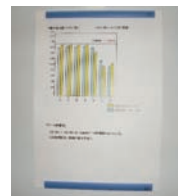
- 水漏れ箇所の修理を推進し、水の使用量削減に取り組みました。
- 食品廃棄物の再生利用については、肥料よりも飼料としての再利用が推奨されていることから、2010年度以降は特に飼料化に取り組んでおりますが、2011年度は飼料化業者の廃業により、飼料化率が減少してしまいました。
- 電力消費量を削減する為、夏場のエアコンの設定温度の変更と運転時間の短縮、蛍光灯のLEDランプへの交換、扇風機への切替え、不要な照明の削減等を行いました。



- 都市ガスの使用量を削減する為、蒸気漏れ箇所の補修や、配管等の保温施工による蒸気ロス低減に取り組みました。

### 従業員への教育と啓蒙

- 夏場の節電を工場全体で推し進めるため、日々の最大電力使用量をグラフにして掲示しました。



### 地域環境への貢献活動

- コンビナート協議会主催の年2回の清掃活動に参加しました。
- 工場外周の清掃活動を行いました。



所在地 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番5

### 過去5年間(2007~2011年度)の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	267,525	261,271	256,418	268,787	307,359
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	6,485,959	6,082,412	6,037,155	6,116,510	7,390,725
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m <sup>3</sup>	0	0	0	0	0
都市ガスの消費量	m <sup>3</sup>	1,880,289	1,798,843	1,751,003	1,745,509	1,903,141
CO <sub>2</sub> 排出量	t	7,539	7,137	7,266	7,331	8,383
出荷重量	t	6,834	8,033	8,177	9,190	9,275
売上金額	百万円	—	—	—	7,541	8,608

# フジコン食品(株) (生産品目:佃煮・とろろ・漬物・調味食品など)

## 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を出荷重量対比で前年を維持する	前年対比8.1%削減
食品廃棄物の排出量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比12.5%増加
電力消費量を前年より出荷重量対比で0.5%削減する	前年対比13.2%削減
石油系燃料の使用量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比6.2%削減
CO <sub>2</sub> 排出量を出荷重量対比で前年を維持する	前年対比9.8%削減
施設周辺の環境保全活動の実施	実施

## 環境負荷低減への取り組み

- 水の使用量削減の為、ホース先端へストップバルブを取り付け、水使用時に小まめに開閉するようにしました。漬物包装機の部品をインボス化し、原料付着を少なくして洗浄時間を短縮しました。
- 食品廃棄物の排出量を削減する為、佃煮・漬物など水分の多い廃棄物については、プレス機による脱水を行いました。佃煮用昆布のボイル槽にこぼれ防止シートを設置して、原料のこぼれを抑えました。佃煮用に切断したときに出来る変形昆布については、乾燥して再利用しました。
- 電力消費量を削減する為、LED蛍光灯の導入、蛍光灯の間引き、装置・エアコンの昼休憩時停止などを実施しました。また、エアコンの節電対策として屋根へ散水装置を設置しました。



- 積載効率を上げて製品配送定期便の減便に取り組みました。

- 石油系燃料の使用量を削減する為、蒸気配管の点検を行い、蒸気漏れの補修、不要な配管の撤去、適正な減圧弁の設置を行いました。また、夜間廃水処理場に蒸気を供給するボイラーの圧力設定を見直しました。作業終了時に蒸気バルブを速やかに遮断するようにしました。

## 従業員への教育と啓蒙

- 朝礼で、環境目標とこれに対する取り組みについて全社員への周知を図りました。
- グループ毎に環境負荷削減目標を立て、実行計画書を作成して計画的に改善に取り組みました。また、月々の達成度を実行計画書に記載し、環境掲示板に掲示し広報しました。

## 地域環境への貢献活動

- 定期的に会社周辺の清掃活動を行いました。



所在地 兵庫県美方郡新温泉町福富字定利178番地

## 過去5年間(2007~2011年度)の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	234,676	192,214	173,468	197,379	203,878
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	21.88	34.67	44.69	36.18	31.57
電力の消費量	kwh	2,370,640	2,355,536	2,325,410	2,373,483	2,315,801
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m <sup>3</sup>	446	405	415	503	530
CO <sub>2</sub> 排出量	t	2,525	2,403	2,417	2,696	2,733
出荷重量	t	1,719	1,940	2,494	2,797	3,143

# フジッコフーズ(株) (生產品目:デザート・煮豆・調味食品など)

## 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を前年より生産バック数対比で3%削減する	前年対比4.0%削減
電力消費量を前年より生産バック数対比で1%削減する	前年対比1.1%削減
石油系燃料(重油・灯油)の使用量を前年より生産バック数対比で1%削減する	前年対比0%削減
CO <sub>2</sub> 排出量を前年より生産バック数対比で1%削減する	前年対比3.7%増加
年1回の工場周辺幹線道路のクリーン作戦と定期的な工場周辺の美化活動を行う	実施

## 環境負荷低減への取り組み

- 電力消費量を削減する目的で、インバータ式のエアコンプレッサーへの更新、冷凍コンテナへの遮熱屋根の取り付けを行いました。また、蛍光等の一部を消灯し、水銀灯と24時間点灯している蛍光灯をLED照明に変更しました。
- 石油系燃料の使用量を削減する目的で廃棄していたドレン温水の一部を回収配管に接続しました。また、更新するドレントラップをロスが少ないボール式にしました。



## 地域環境への貢献活動

- 境港市の一斉清掃に合せて、工場周辺と国道の清掃活動を行いました。
- 毎日、工場周囲の車道・歩道の落ち葉、ゴミ拾いを実施しました。



所在地 鳥取県境港市竹内団地271番地

## 従業員への教育と啓蒙

- 朝礼で、省エネ活動の実施を要請しました。

## 過去5年間(2007~2011年度)の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	172,460	173,032	191,302	195,048	181,814
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	3,360,720	3,128,640	3,272,472	3,369,216	3,235,728
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m <sup>3</sup>	1,272	1,117	1,130	1,095	1,063
CO <sub>2</sub> 排出量	t	5,333	4,771	4,888	4,655	4,689
出荷重量	t	6,569	5,606	6,304	6,428	6,123
生産バック	千バック	33,703	29,198	33,528	38,191	37,097



# フジッコワイナリー(株) (生産品目:デザート・ワインなど)

## 環境目標の達成状況

目標	実績
水の使用量を出荷重量対比で前年を維持する	前年対比1.1%削減
食品廃棄物の排出量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比20.2%削減
電力消費量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比6.2%削減
石油系燃料の使用量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比2.7%増加
地域環境保全に貢献し、工場内及び工場周辺をきれいにする活動を行う	実施

## 環境負荷低減への取り組み

- 電力使用量を削減する為、照明のLED化、事務所蛍光灯への個別スイッチの取り付け、冷蔵庫・エアコンの温度設定の見直しを行いました。
- 空調機の室外機・室内機のフィンを洗浄し、熱交換効率を高めました。

## 地域環境への貢献活動

- 7月～9月にかけて、当社周辺道路の清掃・除草活動を毎週行いました。
- 甲州市主催の中央道周囲の清掃活動に参加しました。

## 従業員への教育と啓蒙

- 従業員に対して2011年度環境報告書を使用して、環境に関する勉強会を実施しました。



所在地 山梨県甲州市勝沼町下岩崎2770番地1

環境との関わり

## 過去5年間(2007～2011年度)の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
水の使用量	m <sup>3</sup>	26,695	37,017	40,252	35,071	33,582
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	97.90	99.49	99.58	97.89	100.00
電力の消費量	kwh	1,204,524	1,245,408	1,297,962	1,336,908	1,214,766
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m <sup>3</sup>	200	220	222	278	240
CO <sub>2</sub> 排出量	t	1,212	1,288	1,323	1,381	1,330
出荷重量	t	3,402	3,752	4,179	4,311	4,175

## 本社オフィス部門

### 環境負荷低減への取り組み

- 本社オフィスでは、下記のような取り組みを行い、電力消費量を2010年に比べて15%削減することができました。
- サーバ室に間仕切りドアを設置して、省スペース化（従来の約6分の1の面積に縮小）を図り、小型の空調機で対応することで、電力消費量の削減に取り組みました。これにより、毎月のサーバ室の電力消費量を、約80%~90%カットすることができました。



- 外周にあるネオンの点灯時間見直しや看板の消灯を行いました。
- 5月から9月にかけてクールビズを実施し、エアコンの設定温度を高くしました。また、使用を控えるように努めました。

- エレベーターを使わずに階段を利用する2アップ3ダウン運動を実施しました。
- 蛍光灯の間引きとプルスイッチの取り付けを行い、電力消費量の削減に取り組みました。



### 従業員への教育と啓蒙

- 電力消費量を毎週回覧する等して、従業員1人ひとりの節電意識を高めました。

### 地域環境への貢献活動

- ポートアイランド（本社所在地域）のクリーンアップ作戦（清掃活動）に参加しました。

### 2012年度の目標

- 2012年度は、電力消費量を前年より7%削減できるよう取り組みを進めております。

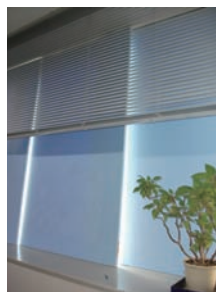
### 過去5年間（2007～2011年度）の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
電力の消費量	kwh	1,529,415	1,459,853	1,415,976	1,466,193	1,245,790

## 営業部門（営業所・物流センター）

### 環境負荷低減への取り組み

- 東京FFセンターでは、エレベーターの使用を自粛する、窓に断熱材を取り付け室内温度を一定に保ちエアコンの使用を控える、利用の少ない照明を削減する等のことを実施し、電力消費量を2010年に比べて19%削減することができました。



- 関西物流センターでは、デマンド監視システムを導入して使用電力の削減に努め、電力使用量を2009年度比7.45%・2010年度比では2.66%削減できました。
- 各営業所では、エアコンの設定温度を見直して電力消費量の削減に努めるとともに、エコドライブを呼びかけ、燃料の節約と排出ガスの削減に取り組みました。

### 地域環境への貢献活動

- 営業所周辺の清掃・草取りを定期的に行いました。

### 過去5年間（2007～2011年度）の環境負荷データ

	単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
電力の消費量	kwh	—	—	2,500,005	2,437,665	2,190,348

※電力の消費量は、2009年度より調査しており、それぞれの営業所（出張所・研修所を含む）・物流センターの数値を合算した値になります。

## 環境保全に関する近年の取り組み

2001	和田山工場・東京工場 ISO14001認証取得 東京工場 嫌気性排水処理施設導入 関東工場 焼却炉廃止 フジッコワイナリー(株) 糖廃液を肥料の発酵促進剤として出荷開始 フジコン食品(株) 焼却炉廃止(全工場で小型焼却炉廃止)
2002	フジコン食品(株) ISO14001認証取得 フジッコフーズ(株) 嫌気性排水処理施設導入 生産本部 環境管理委員会設置
2003	フジコン食品(株) 嫌気性排水処理施設導入
2004	関東工場 コージェネレーションシステム導入
2005	フジッコフーズ(株) ナタデココ脱水機導入
2006	鳴尾生産事業部 灯油およびLPGを燃料とする設備を天然ガスに転換
2007	横浜工場 LPGを燃料とする設備を天然ガスに転換
2008	西宮工場 外装のシュリンク包装をPPバンド包装に転換
2009	東京工場他 レトルト商品の包装を脱アルミ包装に転換 フジッコフーズ(株)他 デザートの内装ボール箱の軽量化
2010	鳴尾工場他 LED照明の導入に着手 東京工場他 包装の厚みを薄くし軽量化
2011	商品の開発・改善において、CO2排出量を従来製法より約10%低減する新技術を取り入れることに着手

### ISO14001の認証取得状況

2001年9月に、煮豆・佃煮業界では初めて和田山工場、東京工場がISO14001の認証を取得しました。また、2002年には、フジコン食品(株)がISO14001の認証を取得いたしました。

### 環境に関するご指摘

各事業所では、環境に配慮した生産を行うように努めておりますが、事業所近隣の方より、事業所内で気がつかないような環境影響について、ご指摘を受けることがございます。

このような近隣の方からのご指摘について、ひとつひとつ改善していくことで、より精度の高い環境管理を行っていきたいと考えております。

2011年度の、近隣の方からの環境に関するご指摘は、以下の通りです。

ご指摘内容	年度	事業所	対策
エアー漏れの音	2011	和田山工場	エアーバルブの交換を行いました。
排水処理場の臭気	2011	フジコン食品	排水処理場の原水槽の清掃を実施しました。また、濃厚廃液を保管する槽を密閉できるタンクにしました。
蒸気漏れの音	2011	横浜工場	蒸気漏れの箇所を補修・交換しました。

# 食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして



この報告書は、「FSC認証紙」および「植物油インキ」を使用し、有害な廃液の発生が少ない「水なし印刷方式」で印刷しています。



フジッコ株式会社 経営企画室  
〒650-8558 神戸市中央区港島中町6-13-4  
Tel.078-303-5921